

凍結事故防止対策のご案内

本格的な寒さを迎えるにあたり、凍結防止の為の準備とチェックをお願い致します。

電気温水器・エコキュート

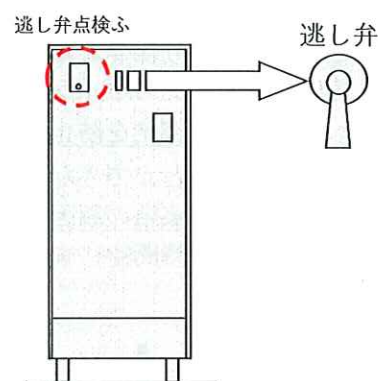
①逃し弁の作動確認

逃し弁レバーを半分あげ、ドレン口または排水配管からお湯（水）が出ることを確認してください。
逃し弁レバーを下げ、お湯が止まることを確認してください。

②水抜きをせずに、漏電遮断器A、B（2ヶ所）を「入」のままにしておきます。

③浴槽に水をはる

浴槽の循環口の上から、10センチ以上水を張った状態にしてください。定期的に水が循環することで凍結を予防します。



水道管

以下の時にご注意ください!



- ・外気温がマイナス4度以下になったとき。
- ・旅行などで家を留守にするなど、長期間水道を使用しないとき。
- ・一日中、外気温が氷点下の「真冬日」が続くとき。

水道の凍結を防ぐには

- ・水道管や蛇口の部分を、身近にあるポロ布や毛布などで濡れないように保温して下さい。
- ・メーターボックス内を保温して下さい。保温材は濡れないようにビニール袋などに入れてメーターを上下左右から保護するように取り付けて下さい。
- ・「水抜き栓」による水道管の水抜きが効果的です。寒い冬、寝る前や家を留守にする場合、水抜き栓を使って水道管内の水を抜いて下さい。

それでも凍ってしまったら・・・

凍った部分にタオルや布をかぶせて、ぬるま湯をゆっくりかけて気長に解かしましょう。

※急に熱湯をかけたり、直接かけたりするとすると、ひび割れや破裂することがあります。